

【BA・5対策強化宣言の発出】に伴う市長メッセージ 8月4日

- 栃木県は、本日、コロナ対策本部会議を開催し、県内の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加を受け、8月5日から31日までの間、国が新設した「BA・5対策強化宣言」を発出することを決定しました。今後、高齢者や基礎疾患を有する方、同居する家族等については、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出自粛等、感染リスクの高い行動を控えるよう注意喚起を行っていきます。
- 県内では、8月に入り、一日当たりの新規感染者が3千人を超えるなど、過去最多を更新しています。新規感染者は、年代別では40代以下の若年層が約7割を占めています。また、病床使用率は50%を超え、自宅療養者の増加が続き、2万人を超えている状況です。
- 本市においても、10歳未満の児童・園児や、10代から30代の若い世代の感染の割合が依然として高く、家族間での感染リスクが高まっている状況を踏まえ、感染拡大に一層のご注意をお願いいたします。
- 感染者数が多い40代以下の若年層の3回目ワクチン接種率が他の年代に比べて低くなっています。3回目のワクチン接種を済まされていない方は、ご自身のため、ご家族や身近な人を守るため、積極的にご検討いただきますようお願いいたします。加えて、高齢者等への4回目のワクチン接種を進めています。接種対象となっている方には、引き続き、接種についてご検討をお願いいたします。詳しい情報は市ホームページ等でご確認をお願いいたします。
- これからお盆休み等を迎えます。帰省や旅行、イベント参加などで人の移動が増えるとともに、ご家族やご友人とお会いになる機会も増えてくると思われます。その際には、重症化のリスクが高い高齢者や基礎疾患のある方が感染することがないように、こまめな換気や、手指消毒、マスクの着用など基本的な感染対策を心掛けていただきますようお願いいたします。
- 引き続き、感染防止対策と経済活動の両立を図るため、全力で取り組んでまいります。市民の皆様には、基本的な感染防止対策を継続していただくとともに、屋内では適切にエアコンを使用するなど、熱中症には十分注意していただきますようお願いいたします。

足利市長

早川尚秀